

令和元年度第1回宗像市民図書館協議会議事録

開催日時 令和元年7月8日（月）10：00～11：50						
開催場所 宗像ユリックス図書館						
出席者	【委員】					
	河内祥子会長	○	野本俊彦副会長	○	藤井準一委員	○
	牟田貴美子委員	○	高杉洋史委員	○	高屋和美委員	○
	白根一夫委員	○	栗山佳子委員	○		
	【事務局】					
	図書課長織戸由美子	○	図書館係長本田博子	○	西谷尚子	○
	柴田やよい	○				

◆会議資料

- ・平成30年度図書館要覧（案）
- ・宗像市読書のまちづくり推進計画実施シート（令和元年度）
- ・宗像市読書のまちづくり推進計画見直しスケジュール（案）

資料1

資料2

資料3

◆議事内容

1. 開会のあいさつ

- ・河内会長あいさつ
- ・委員及び事務局職員の自己紹介

2. 審議事項

(1)「平成30年度図書館要覧（案）」について

事務局から資料1により説明

【訂正】◆：ページ、目次等

①市民図書館について

- ◆5p 沿革：平成29年5月の「中央館2階情報視聴コーナーにインターネット検索用パソコン設置（10台）」と平成29年12月の「サンリブくりえいと宗像内に図書返却ポスト設置」を入替
- ◆10p 統計：「館別資料数」3行目の雑誌を「視聴覚資料」に訂正
- ◆11p 統計：「年齢別登録者累計」の雑誌を削除
- ◆13p 統計：「市外貸出数」の「雑誌」を「女」に訂正

②学校図書館について

- ◆40p 学校一覧：「市外貸出数」の地島小学校の住所「宗像市」を「地島428-1」に訂正
- ◆41p 統計：「宗像市の一般会計のうち、学校図書館事業に係るものを掲載しているため、歳入の合計と歳出の合計は一致しない」を「宗像市の一般会計のうち、学校図書館事業に係るものを掲載」に訂正

【質疑等】 ◆：ページ、目次等 番号：委員の発言 ⇒：事務局からの回答

◆5 p 沿革

- ①国会図書館のレファレンス協同データベースに参加したことを追記してアピールするとよい。

⇒追記

◆6 p 施設概要

- ①各館ごとに特徴を持たせ資料を収集していることを記載してはどうか。

⇒31 p 資料収集方針の中に各館の特色を掲載しているが、施設概要にも追記

◆6 p 利用案内

- ①18 時閉館は仕事をしている人には利用しにくい。月に何回か 20 時くらいまで開館できないか。検討してほしい。

⇒厳しい財政状況の中で難しいところがある。一週間に 1 回でも開館時間の延長ができたらいと思うが、財政課との調整も必要

- ②現状の時差出勤状況はどうなっているのか。

⇒図書課職員は 8 時 30 分から 17 時、9 時 30 分から 18 時の時差出勤をしている。窓口業務は委託しており、9 時 30 分から 18 時勤務で時差出勤はしていない。開館時間延長となると委託料がかなり上がると思う。

- ③全国的に 18 時閉館は一般的なのか。

⇒18 時、19 時、曜日による時間延長など、館によって様々

- ④曜日で開館時間をずらすなどの工夫はできないか。

⇒アンケートでは朝早く開けてほしいという意見が多い。

- ⑤ヤングアダルト世代も 18 時に閉まると来館しにくい。市町村の図書館の開館時間を調べ、財政課に交渉するなど検討してほしい。

◆7 p 予算・決算

- ①歳入の平成 30 年度決算額と令和元年度予算額の合計額の差があり過ぎるが、なぜか。

⇒図書館振興財団の助成金が 426 万円あったため。

- ②説明欄に金額を書くとうわかりやすい。

- ③歳入と歳出が合っておらず分かりにくい。市の予算の図書館に関わる予算を入れて合計を合わせることはできないか。一般市民にはわかりにくい。

⇒工夫してわかりやすくしたい。

◆統計

- ①書庫には余裕スペースがあるか。

⇒余裕はない。定期的に除籍している。

- ②通常は深田分館を利用しているが、先日須恵分館を利用した際に、目当ての本がなかった。須恵分館の本も充実させてほしい。立地が一番よいので、本を充実すれば車を運転しない人も利用しやすいのではないか。雰囲気はとてもよいが本が少ないのが残念

⇒12 p 貸出状況を掲載しているが、深田分館より須恵分館の利用者が多く、棚に残っていない可能性もある。予算配分等を検討して充実させたい。

- ③11～13 p 統計を男女別に記載しているが意味はあるか。昨今の状況を考えれば、分けて掲載する必要はないと思う。

⇒男女別記載を削除

◆41 p 予算・決算

①平成 30 年度決算より令和元年度予算の方が増えているようだが、合計は正しいか。

⇒確認して訂正

【修正案作成後、会長に承認を得る】

(2) 宗像市読書のまちづくり推進計画実施シート（令和元年度）について

事務局から資料2により説明

【質疑等】 ◆：取組み等 番号：委員の発言 ⇒：事務局からの回答

≪基本方針1≫

◆事業No.2「★読み聞かせに関する研修会など」

①認定こども園に読み聞かせに行っている。認定こども園では、先生方がしっかり読んでくれている。わらべうたに興味があり、0～2 歳の子どもにはわらべうたが有効だと思うので、研修会もわらべうた・読み聞かせに関する研修会にしてはどうか。

⇒わらべうた・読み聞かせ講座に変更

②今後の方針欄は、○か。

⇒◎拡充

◆事業No.5「朝読事業」

①朝読を実施していない小学校が 1 校あるのは、どうしてか。

②中学校は 6 校ではなく 7 校で全校実施ではないか。

⇒小学校は調査時点では大島学園前期課程が未実施だった。中学校は大島学園後期課程を含めて 7 校の間違い

③朝読は毎日実施しているのか。

⇒頻度は学校で様々。授業時数の関係等で状況は厳しい。県の読書事業でも朝読を推してもらいたい。

④学期に一度も実施していないのが気になる。

⑤実施している学校では、子どもが思い思いに本を持ってくるのか。

⇒ボランティアが読み聞かせをしたり、学校司書が本を紹介したり、様々

⑥少しでも知識のある人が関わり本を紹介したりすると、子どもたちがよりよい本に出合うことができる。

⑦低学年は担任・ボランティア・学校司書が本を勧めることが多いが、高学年は自分で選んでいることが多かった。担任によっては朝読用にクラス貸出で絵本を数十冊教室に置いていることもあった。学校司書が紹介POPを作って勧めることもあった。

⑧ボランティアの協力を得られれば、よりよい朝読になるのではないか。

⑨ボランティアも活動回数が多く大変そうだ。学童でもボランティアに入ってもらいたいと思っているが、なかなか声をかけられなかった。

⇒朝読の時間にボランティアをするのは大変。既存の団体は会員不足が悩みの種で、全クラスに対応できないとの声も聞く。

⑩保護者は仕事をしている人が多く、ボランティアメンバーが増えないようだ。

⑪60 代の方にうまく声をかけ、ボランティアに入ってもらうのがよいのではないか。

⑫「漫画で読むドラッガー」などの本が出版されているが、小中学校に漫画を置いているか。

⇒たくさんではないが漫画も置いている。

⑬歴史物の漫画も多い。今の子どもは漫画を読めないこともある。漫画の読み方も日本の文化として伝承しなければならない。

◆事業No.5「★家読事業」

①今後の方針欄は、空白のままか。

⇒◎拡充

◆事業No.9「利用者参加型企画の実施」

①高齢者対象の「まわしよみ新聞」とはどんなものか。

⇒新聞記事の中から気になるものを選び、それを参加者同士で発表しあい交流しながらオリジナルの壁新聞を作るというもの。9月に65歳以上を対象に保存期限が切れた新聞を活用し、回想法を兼ねた講座を開催予定

②高齢者と銘打つべきか迷うところ。

③夏休みに孫と一緒に参加するのもよいのではないか。小学校の教材で「新聞を作ろう」「新聞を読もう」という単元がある。新聞を購入していない家庭もあるが、図書館に来てくると新聞は読めることも知らせてほしい。世代間交流のためにもやってほしい。

④「まわしよみ新聞」はどこで開催するのか。

⇒中央館2階で開催

⑤高齢者がここまで来られるか。

⇒まず中央館でやってみて、それからコミセンなどに広げていけたらと思う。

《基本方針2》

◆事業No.12「★本の情報交換会」

①今後の方針欄は、前期から早めに始めているので○か。

⇒○維持

◆事業No.14「ボランティア養成講座」

①初心者のための読み聞かせ講座の受講者数は何人か。

⇒10人程度の参加があった。ボランティアをしたい人や孫に読みたいという人もいた。

②講座の時にボランティア活動につながるようにするとよいのでは。

⇒ボランティア団体の代表者に来ていただき顔合わせをするなど工夫している。

③講座受講者は、その後ボランティアにつながるのか。

⇒無理強いはしない。参加は50代から80代のボランティアに前向きな人が多かった。

④子どもが手を離れた時に、何か人の役に立ちたいと思い、読み聞かせならできそうと思うのではないか。

⑤学校でのボランティアに関連させるのであれば、講座の会場を学校にすると、子どもたちの様子もわかってよいのではないか。

⇒受講後、いきなり人前で読むのかと不安な人もいたが、学校が会場であれば様子がわかり安心されると思う。昼休みに読み聞かせするのもよい。

⑥せっかく受講したのに、その後すぐ活動できなければもったいない。受講証を渡して経験を積む等工夫してはどうか。

⑦図書館で読み聞かせボランティア講座を受けたとはいえ、いきなり学校には行きづらいと思う。現場の先生から学校を講座会場としてよいとの提案があるので、学校を会場に開催するとよい。

⇒ぜひ学校で開催したい。

⑧音読が上手な子どももいる。子どもが読んでもよいのではないか。

⇒日の里学園では中学生が小学校で読み聞かせをしているのではないか。

⑨地島小学校では小学生が幼稚園児に絵本を読んでいる。

⑩小学校では雨の日等、高学年の図書委員に低学年の子どもたちのために読み聞かせをするよう指導していた。

⑪子どもの時から読み聞かせ等のボランティア経験をするのはとてもよいと思う。

《基本方針3》

【質疑等】

◆事業No.21「資料購入費の確保」

①図書館における電子書籍は館内で読むのか。

⇒自宅で、自身の端末で読むことができる。1回登録すると端末上で借り、24時間いつでも読めるようになる。貸出期限が過ぎれば返却となる。

②点数は限られるのか。

⇒現在、検討している。

◆事業No.22「★学校図書館の段階的な地域開放」

①学校図書館の面積を考えると、児童生徒用の資料だけでいっぱいだ。市民向けの本を置くスペースはない。慎重に検討してほしい。開放することで財政上のメリットがあるのであれば、検討してもよいと思うが。

②夏休みに本を借りに行きたいが、市民図書館までは子どもだけで行けない。自由ヶ丘南小学校では校長の判断で図書室を開放してくれる日が設定された。

⇒夏休みには学校司書が勤務するが、働き方改革もあり学校閉庁日以外で開放を考えたい。学校の危機管理上の問題もある。人件費の確保も考えた上で計画に反映させたい。

◆事業No.27「計画的な蔵書構築」

①利用者の求める本は芥川賞・直木賞などが多いと聞いたが、その傾向は変わらないか。

⇒メディア等にとりあげられ話題になった作品は読みたい人が多い。

②その後、数年読まれるのか。

⇒作品による。借りられる本もあれば、全く借りられない本もある。

◆事業No.27「地域情報や市のユネスコ世界文化遺産登録関連資料の収集と提供」

①図書館要覧の施設概要だけでなく、市民図書館 HP などにも各館の特徴を追記してはどうか。

◆事業No.28「レファレンスサービスの向上と周知」

①国会図書館協同レファレンスデータベース参加を記載するとよい。

⇒国会図書館協同レファレンスデータベース参加と掲載件数を追記

【事務局案に協議会で出た意見等を検討して計画実施シートに反映する】

事務局より教育委員会から宗像市民図書館協議会に宗像市読書のまちづくり推進計画中間見直しについての諮問文書を渡す。

(3) 宗像市読書のまちづくり推進計画見直しスケジュール（案）について

事務局から資料 3 により説明

質疑なし

5. その他

①第 2 回協議会開催について

令和元年 10 月（8 月日程調整）開催の予定

②夏休みイベントについて

図書館だより 7 月号で夏休みイベントを紹介

6. 終わりのことば

河内会長あいさつ